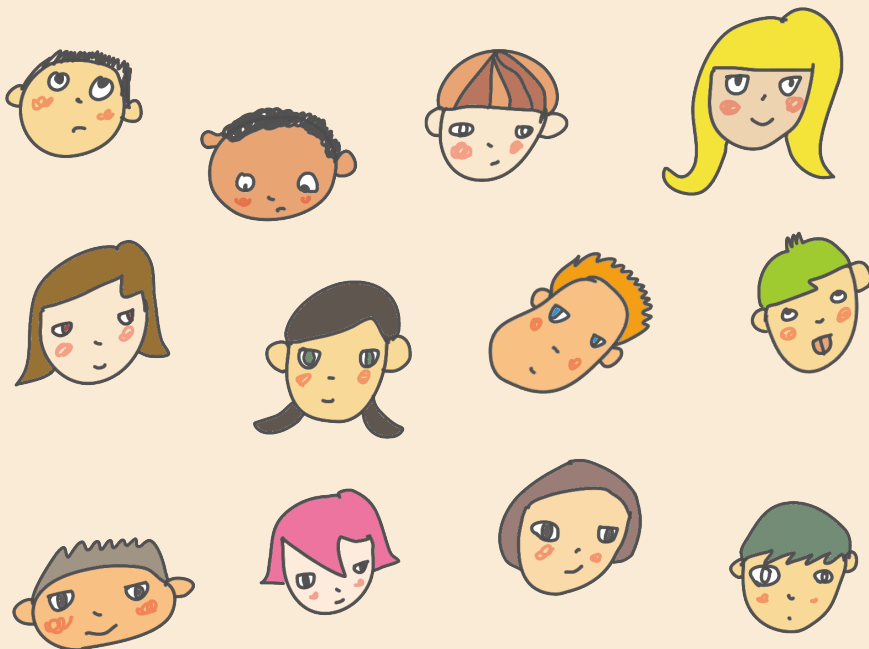


みんなの^{こえ}声で ^{こま}狛^え江^{かい}が^あ変わる!

^{こま}えし ^{かし}ょう ^こ ^{けんり} ^{じょうれい}
狛江市(仮称)子どもの権利条例 いまココ



^{こま}えし
狛江市

狛江市の子どものみなさんへ

狛江市は、子どもの権利が尊重され、幸せに自分らしく暮らせるようにするため、みなさんの意見を聴きながら一緒に条例(※1)をつくりたいと考えています。

そこで、狛江市内の学校や児童館、遊び場など、みなさんがよく過ごしているいろんな場所(居場所)に、直接声を聴きに行きました。

暮らしの中で、モヤモヤしたこと、本当はもっとこうしてほしかったことなど、いろんな声がありました。

この冊子は、そんな「みんなの居場所で聴いた声」の一部をまとめたものです。

聴いた声は、いまつくっている条例に反映(※2)します。

みなさんもどんな声があったか、読んでみてくださいね。

(※1) 条例とは／みなさんが幸せに暮らすために決められている、まちのルールのことをいいます。

(※2) 反映とは／ここでは条例の文に使ったり、優先順位の参考にしたり内容に取り入れられたりする、という意味で使いました。

子どもたちの声を こんなふうに聴いたよ

どこで
聴いたの？

狛江市内の
子どもがよく
過ごしている場所
9か所

学校や児童館、遊び場 など

誰に聴いたの？

6才～18才までの
子ども46人

※直接話すことが難しい子どもの
親の会の大人にも聴きました。

どんなふうに
聴いたの？

子どもが本当に思っていることを
聴く仕事をしている大人が、
2人ずつみんなのところに行って、
話を聴かせてもらいました。

子どもたちには、1つのできごとについて
「どんなことがあった？」「その人はなにをした？なんて言っていた？」

「そのとき、どんな気持ちだった？」

「本当はどうしてよかった？どうなるよかった？」

「『子どもの権利条約』の何条と関係しそう？」ということをも
話したり書いたりしてもらいました。

そのとき、こんな約束をしました。

「誰がなにを話したかは、誰にもわからないようにするよ」

「すべて大切な意見だから、どんなことでも話していいよ」

「みんなの声はかならず狛江市の人たちに届けるよ」

つぎのページからつづく声は、話しながら、子どものみんなが
書いてくれたコトバのまま載せています。

(誰が話したかわからないようにするために、少し変えているものもあります。)

13才
がっこう
学校で



せんせい
先生に
わたし おこ
私たちだけ怒られた

どんなことがあった？

ろう下で遊んでいる人がいて、(遊んでも) いいのか！
と 思って 私たちも遊んだら、先生が自分たちだけを
理不尽に怒った。「遊んでいる人がいたので、私たち
もいいのかと……」と言ったら、さえぎって「人のこと
はいいから関係ない」と言われた。

遊び始めたきっかけはそのことだから、それで怒られ
るのは理不尽だと思った。

言いたいことはたくさんあるから、言わせてほしい。

ムカつく！

どんな話でも、一回自分の話をきいてほしかった。

おとな
大人から

「どうしてここで遊んでいるの？」とまづ聴いてほしかった
ですね。自分たちの言い分もちゃんと聴いてほしいこと、
大人もある。そのうえでどうすればいいかを一緒に考えら
れる大人になりたいと思いました。



14才
いえ
家で



てん
テストの点
わる ぼっしゅう
悪かったらスマホ没収

どんなことがあった？

親がテストの点が悪かったり悪いことをしたら
スマホ没収という話題を出してくる。

届かない目標を設定してくる。

なんでテストがあるんだろう？

スマホ関係ない。なんとも(反論)できない。

スマホの話題は出さないでほしい。

おとな
大人から

「これをしたら(できなかつたら)○○」
と言われると、かえってやる気が出ないこと、ありますよ
ね。自分も嫌な気持ちになったことを思い出しました。そ
れに、親の方が立場が強いので、何も言えなくなっていま
いますよね。

目標は子どもと大人で一緒に考えるようにしたいです。



さい
17才
としょかん
図書館で



じ かん た
2 時間経ったんで
はやく
早くどいてください

どんなことがあった？

としょかん べんきょう
図書館で勉強しようとしたときに、2 時間っていう時間制限が
決められていて、図書館の人に“2 時間経ったんで早くどいてく
ださい”みたいに言われた。言い方きつくて嫌だなと思った。
ふだん こ どもが騒いでいて注意するのはわかるけど、おとなも
おおごえ 大声で話しているうさときもあった。

ばしょ にんずうせいげん
場所も人数制限も決められていてちゃんと勉強できなかった。
しじたい 市自体にも自習スペースがなくて、中高生が気軽に勉強できる
ばしょ 場所がどこにもない。

もっと中高生が自習できるスペースをふやしてほしいし、勉強
している子にもっと優しくしてほしい。

おとなから
大人から

自習スペース足りないなあと思います。
おとな 子どもも、ついおしゃべりがうさくなってしまうこ
ともあるから、たの 楽しくおしゃべりできる場所と、自習スペ
ース、それぞれ増やしていきたいね。
わたし 私も、子どものころ、だれ 誰でも使える自習スペースがあると
いいなと思っていました。



ダメです

さい
11才
がっこう
学校で



どんなことがあった？

クラスの男子が「給食はグループでしゃべりながら
食べたい」と言っていた。

だけど先生は「ダメです」とすぐに言った。

自分の学校は他の学校と少しちがうところがある
……。少しでも私たちの話をきくようにしてほしい。

おとなから
大人から

ダメなことには何か理由があるのかもしれ
ないけど、それを言ってくれないとわからないし、納得い
かないですね。しゃべりながら食ではいけない理由
も聴きたい。それに楽しく食事できることは大切。
クラスの決まりを子どもと先生で一緒に考えていけると良
いなと思います。



17才
がっこう
学校で



部活動の行事を 先生の判断のみで 決められた

どんなことがあった？

部活動での行事、合宿を顧問の先生の判断のみで“行わない”と決められてしまった。合宿をしたくてその部活に入った人もいる中、子ども（部員）が意見を言うことなく決定していた。その後、こちら側から意見を出す場を設けていただいたものの、前の年に合宿や本番のタイミングでの体調不良者の増加があったからという理由で行わないと決まった。もう決まったことで変更はない、と、話し合いは終わってしまった。

部員から「まず部員にも話してから行うかどうかの判断をしてほしい」と言った。

やはり部員が関わっていることは、特に相談してほしいと思った。しっかりと部員や保護者を交えて意見をまとめ、それを反映してほしい。部活全体が納得いくような判断をしてほしい。

おとな
大人から

みんないろんな思いがあって部活動をしていると思う。先生も事情があるかもしれない。だからこそ、みんなが納得できるように話し合ってもらって意見をまとめる機会を持ちたいですね。決定する前にしっかりと話し合う場が設けられていれば、合宿を行うか・行わないか、以外の良い案が出たかもしれません。



いつの間にか 滑り台なくなった

8才
こうえん
公園で



どんなことがあった？

いつの間にか滑り台なくなった。いきなりなくなった。鉄棒もなくなっちゃった。子どもたちにお知らせがない。何でなくなったの？ 楽しかったのに、もっと遊びたかった。赤ちゃんは遊びやすそうだけど……。なんで小さい子の遊ぶものばかりつくって大きい子どもが遊ぶものがなくなるんだろう。

ぐるぐる回る遊具は、誰かがけがをして壊したみたい。

なんで遊具を勝手に壊すのかききたかった。

壊さないでほしかった。

お知らせの看板とか意見をはれる場所ほしかった。

おとな
大人から

公園の遊具のこと、公園でのきまりのこと、そこで遊ぶ子どもたちの意見を聴いたり、お知らせをしてほしいと思うのは当たり前のことだと思う。遊具で楽しく遊んでいたこと、伝えなかったですね。利用している子どもが「何で？」と不満をいだってしまうような公園の管理の仕方は改めないといけないと思いました。



さい
9才
こうえん
公園で



うるせえ！
あそ
しずかに遊べ！

どんなことがあった？

6〜7人で、大声で遊んでいたら、50代くらいのおじさん
ふたりから、「うるせえ！ しずかに遊べ！」と言われた。

むかついたけど、大ごとになるのもいやだと思って、謝った。
ともだちといたけれど、みんな「うぜえよ！」「だまれよ！」と
言っていました。

公園だから遊べる場所だからうるさくしてもいいと思うんで
す。

優しく言ってほしかった。もりあがって遊びたい。

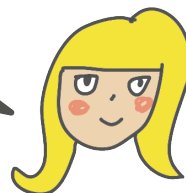
子どもがあんしんして遊べる場所をつくってほしい。

おとなから

わたし、私も、公園は子どもが安心して遊べる
場所であってほしいと思います。
子育てしていたころ、地域の大人から子どもへの言葉づ
かいがひどかったことがありました。こわくてその場所
に行けなくなるから、そういうことはなくしていきたいと思
います。



さい
10才
いえ
家で



じぶん
自分で言ったことは
じぶん
自分もやってほしい

どんなことがあった？

お母さんは「自分のものじゃなくてもかたづけなさい」と言っている
のに、自分は「私のものじゃないし」とか言っているの、自分が
言ったことが自分でできていない。圧があるから(自分からは)特に
何も言えずにいた。ひどいと思った。

自分で言ったことは自分もやってほしい。

おとなから

私も子どもの頃、大人に同じような思いを
もったことがあるよ。子どものために思って注意している
としても、その人自身が言っていることをしていなかったら、
「機嫌が悪いのかな」「私には注意するけど、自分は
楽をしたいからやらないのかな」などと思ってしまうよね。
言葉だけでコントロールしようとするんじゃなくて、大人
がやっている姿を見せてくれたら、私もやってみようと思
えたかもしれません。子どもが自分の思いを伝えやすい
環境を整えるのは、大人の役目だとも思います。



11才
公園で

公園のルールが
きびしい



どんなことがあった？

公園のルールが少しきびしいような気がする。
花火がダメなのはわかるけど、ボール×だと遊具しか
……。遊ぶ選択肢がなくなってしまう。
ボール×だけでなく、こういうやり方ならいいよ、
とか、まわりの人に注意してください、とか。

大人から 公園のルールについても、子どもの意見を
聴きながら決めてほしいですね。
ボール遊びが禁止の公園、とても多いですね。ボール
で遊ぶ子どもも周りの人も楽しく安全に過ごすことのでき
る公園が増えるといいなと思います。



13才
家で

〇〇ちゃんは
〇〇なのに、
なんでできないの？



どんなことがあった？

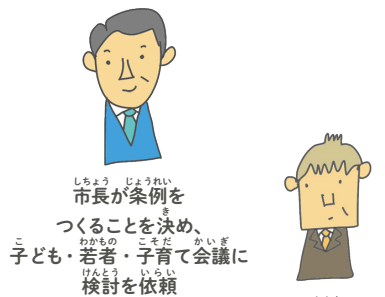
親と兄弟が優秀すぎて比べられる。
「(親は) 昔、塾とか行っても自分で予習と
かして毎回100点だったよ」とか「〇〇ちゃんは
〇〇なのに、なんでできないの？」って言われる。
私とあなたたちは違うじゃんって思いました。
比べないで、違う人間として見てほしかった。

大人から 親子や家族であっても、違う人間。一人
ひとり、得意なことや苦手なことは違いますね。それぞ
れのいいところを見てくれる大人がたくさんいる伯江にな
るといいなあ。



条例づくりの道のり

条例ができるまで、粕江市の子どもと大人の方々に、いろんなところで話を聴いたり、アンケートにこたえてもらっています。その声をもとに、たくさんの大人がどうやっていかせばいいかを考えながら、少しずつ条例の文をつくっているところです。



市民まつりでシール投票



ウェブアンケート調査

1月～3月

11月

12月～1月

2025年

本当にたくさんの回答ありがとうございます！



2024年

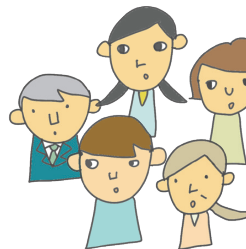


粕江市役所（子ども若者政策課）の人たち

シール投票やアンケートを実施したり、声を聴きに行く活動の準備をしたり、条例ができるまで、縁の下で力持ちとして動いています。条例の文の案もつくっています。



子ども・若者・子育て会議の人たち



いろんな調査でわかってきた子どもや大人の意見を見て、条例の内容を考えている人たちです。この冊子に載っている声もしっかり受け取っています。（「大人から」は、この人たちが書きました）

条例の案について、子どもと大人で話し合うワークショップ

条例が完成！

12月

6月～7月



2025年

3月～6月

いまココ！

いろんな声・結果をもとに条例の案（素案）をつくる

7月～11月

条例の案について最終調整（会議やパブリックコメント、議会）

2026年

4月

条例がはじまる

市長からのメッセージ

たくさんの声を聴かせてくれてありがとう。ここに載せきれないほどのたくさんの声を聴かせていただきました。
みなさんからの声を通して、より良い粕江を目指す勇気が湧きました。粕江を笑顔あふれるやさしいまちにしていきたいためにこれからもみなさんと一緒に歩んでいきたいと思ひます。

こまえしちょう まつばら としお
粕江市長 松原 俊雄



こまえし 子どもの権利に関する条例は、

2025年12月にできる予定です。

今後の予定は、「こまえ子育てねっと」を

チェックしてみてね！

<https://komae-kosodate.net>



え ぶるすあるは 細尾ちあき

デザイン 植田 泰(synapse inc.)

へんしゅう 一般社団法人TOKYO PLAY

はっこう 粕江市子ども家庭部子ども若者政策課企画政策係

〒201-8585 東京都粕江市和泉本町一丁目1番5号

TEL : 03-3430-1111(代表)

はっこうび 2025年6月(初版)
2025年9月(第2版)